

パチンコ・パチスロ依存問題の予防と解決に取り組む事業・研究への支援

「依存の問題を抱えた人を対象にした個別支援事業及び社会啓発」事業

ギャンブルやゲームに関わる生活課題への向き合い方を一緒に考えるための取り組み

2018年に「ギャンブル依存症対策基本法」が施行され、国や地方自治体ではギャンブル依存症への対策を進めているが、必ずしもうまくいっていないのが実情である。20年以上前からギャンブルなどの依存問題を抱えた人の支援活動で実績を積み上げてきた「ワンデーポート」では、原因や背景など当事者の個別性に着目し、そこにアプローチすることを指針に掲げている。



毎月第3土曜日に10kmをランニングする「よこはまラン」を告知するチラシと参加者



我が国初のギャンブル依存症回復施設として2000年から活動する「ワンデーポート」

認定NPO法人「ワンデーポート」は、我が国初のギャンブル依存症回復（入所）施設として、2000年に神奈川県横浜市で設立された団体である。設立直後から、認定NPO法人「リカバリーサポート・ネットワーク」やパチンコ関連団体などとも交流を続けながら、個々の利用者の課題に寄り添い、常に新しい視点での支援活動を行っている。主な事業としては、依存問題を持つ当事者および家族や支援者を対象としたグループセラピーの実施、運動カリキュラムや畑作業の提供、司法書士による債務相談や刑事事件を起こした人への司法サポートの実施、社会啓発を目的としたセミナーの開催などがある。

今やギャンブル等の依存症対策は国レベルで取り組む事業となり、国の定める基本計画に基づき、行政機関や医療機関の主導による相談支援事業などが実施されているが、20年以上にわたる支援活動から見えてきた必要な対策とは開きがあると「ワンデーポート」では感じている。同法人では、依存問題には個別性があり、必要とされる支援は個々に違うというスタンスに立ち、ギャンブルをやる、やらないではなく、当事者の生活や人生そのものに直接アプローチすることが重要だと考えている。

一人ひとりの尊厳を守り、ひとくりに「依存症」と捉えることをせず、人と人との出会いや関係機関などのネットワークを活用しながら、時代や社会の変化に合わせたきめ細かい支援にあたることを指針に掲げて活動を行っている。

あらかじめ決められたプログラムではなく当事者の個別性に合わせた支援を提供

そうした前提のもと、新型コロナの感染拡大をきっかけにしたテレワークなどの普及により、ネットを介したギャンブルやゲーム課金に関わる相談も増えていることなどから、2022年度、依存問題を抱える人を対象に、POSCの助成を活用して「ギャンブルやゲームに関わる生活課題への向き合い方を一緒に考える」ための個別相談事業に取り組んだ。

「依存症は回復できる病気」ということが行政機関や民間の支援団体などから言われることがあるが、実際には自己解決できる人もいれば、問題が継続する人もいるため、支援にあたっては「個別的」な視点が重要である。そこで、事業にあたってあらかじめプログラムを決めて取り組むのではなく、あくまでも依存の当事者の事情や背景に合わせて必要な支援を提供することをモットーに活動した。たとえ

ばAさんについては、対面で話を聞き、助言をすることで終了。Bさんは、対面で話を聞き、助言をした後で、精神科医による発達検査に同行。Cさんは対面で話を聞き、助言をした後で、入所カリキュラムでの継続支援を行うなど、それぞれのニーズや問題背景に沿った支援を提供した。

また、畑作業などの日常的な余暇活動支援などと併せ、毎月第3土曜日には関内～港の見える丘公園～山下公園～みなとみらい間の10kmをランニングする「よこはまラン」を開催し、当事者のほか、遊技業界関係者や医療福祉関係者など、累計136人の参加者があった。

この取り組みにより、「のめり込みの予防や自己解決を促し、依存問題の解決には身体的健康が大事だということ伝えることができた」と、振り返った。これらの活動は、会報やSNSなどを通じて広く発信した。



「よこはまラン」には当事者のほか、遊技業界関係者や医療福祉関係者など、累計136人が参加



助成団体: 認定特定非営利活動法人 ワンデーポート <http://www5f.biglobe.ne.jp/~onedayport/>



依存問題の当事者に個々のニーズに寄り添った支援を提供

我が国ではギャンブル依存症に対して、予防や自己解決の否定を前提とした支援が標準化されていますが、これは実態とは乖離し、誤解や偏見を増長しています。POSCにおいては、国の基本計画に沿った助成ではなく、日工組社会安全研究財団の研究調査などと照らし合わせて、科学的根拠の伴う事業に助成されることを希望します。

認定特定非営利活動法人 ワンデーポート
施設長 中村 努さん